

# 東大阪支部たより（19. 1. 1号）

<支部創設10周年記念号>

常翔学園校友会  
東大阪支部会報第20号

会員の皆様 新年あけましておめでとうございます。  
年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。



東大阪支部会員の皆様には、平素より東大阪支部運営にご指導、ご鞭撻を賜り心から厚く御礼申し上げます。

東大阪支部は平成21年6月27日学校法人常翔学園大阪センターにおいて「大阪工業大学学園校友会東大阪支部設立総会」により発足しました。

昨年6月30日開催しました「東大阪支部総会・懇親会」では第10回の節目をむかえたことから、今回の「支部たより」は、これまでの活動内容の歩みを記載した「支部創設10周年記念号」として発刊することとなりました。

振り返りますと全国に学園校友会の地域・職域支部が多々あるなかで、特に大阪府内の東大阪地域に東大阪支部が無く空白地域となっていることから、なんとか創設出来ないかと当時の学園校友会本部が重点地域として東大阪支部創設に奔走されたと聞いています。

振り返りますと全国に学園校友会の地域・職域支部が多々あるなかで、特に大阪府内の東大阪地域に東大阪支部が無く空白地域となっていることから、なんとか創設出来ないかと当時の学園校友会本部が重点地域として東大阪支部創設に奔走されたと聞いています。

東大阪支部役員は「会員相互の親睦を図り、母校並びに常翔学園校友会の発展に寄与することを目的とする。」ことを基軸に東大阪支部として東大阪支部独自の事業にも取り組んできたところであります。

昨年学園校友会本部で発刊された「校友タイムス」での特集『支部私たちの”街“自慢』には1番目に取り上げていただきました。

この間学園校友会及び会員皆様のご協力を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

今後とも常翔学園卒業生の東大阪地域での活動の拠点となれるよう取り組んでまいります。

会員皆様のご支援ご協力をよろしく願いして年頭のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしく願いいたします。

## 1) 支部総会・懇親会

東大阪支部は平成21年6月27日学校法人常翔学園大阪センターにおいて開催した「大阪工業大学学園校友会東大阪支部設立総会」で正式に発足しました。

第1回の設立総会には来賓9名会員60名計69名により開催しました。



第2回平成22年6月26日東大阪市立市民会館集会場（来賓6名会員66名計72名）



第3回平成23年6月25日東大阪市立市民会館集会場（来賓10名会員70名計80名）



第4回平成24年6月30日ベルクラシック大阪（来賓7名会員60名計67名）



第5回平成25年6月29日ベルクラシック大阪（来賓9名会員66名計75名）



第6回平成26年6月28日ベルクラシック大阪（来賓6名会員72名計78名）



第7回平成27年6月27日ベルクラシック大阪（来賓5名会員78名計83名）



第8回平成28年6月25日ベルクラシック大阪（来賓5名会員53名計58名）



第9回平成29年6月24日ベルクラシック大阪（来賓5名会員37名計42名）



第10回平成30年6月30日ベルクラシック大阪（来賓8名会員42名計50名）



支部総会懇親会では次のイベントを取り組んできました

### ① 講義（講話）

“学校関係の卒業生の集まりから、年に一度は講義を受けよう”と前河野会長の発案から、第2回から続けています。

当初は大学の教授から、最近では会員の仕事上での内容等を発表していただきました。

平成22年の第2回は機械工学科田原弘一教授により題目は「大阪工業大学電気推進ロケットエンジン搭載小型スペースシッププロジェクト」と題して講演していただきました。

平成23年の第3回は、摂南大学、大阪工業大学客員教授の宮田秀明教授により題材は「元気で病気にならない食生活」と題して講演をしていただきました。

平成24年の第4回は、摂南大学経営学部経営情報学科羽石寛寿教授により題材は「やる気の源泉」と題してご講演を頂きました



平成25年の第5回では「ひがしんビジネス大賞2012」に最優秀賞に輝きました日東工作所 更谷さんの超々小型バンケル型ロータリーエンジン（0.126CC）の開発のお話を講演していただきました。



平成26年の第6回は『高齢社会の進む日本に遺言書の大切さを説く行政書士』をテーマに行政書士中越和雄事務所の所長中越和雄様から熱弁していただきました。

平成27年の第7回は大阪産業振興機構取引支援課コーディネーターの塩田康友様による「大阪産業振興機構の活動概要」をテーマ講演していただきました。



平成28年の第8回は「東大阪の上水道について」元東大阪市上下水道局経営企画室室長の森克巳氏に講演をしていただきました。

H29年の第9回は特定非営利活動法人週刊ひがしおおさか代表探検隊長前田寛文様より『東大阪の観光』をテーマに「観光」として司馬遼太郎記念館、花園ラグビー場等の他、ビジネスホテルとしての需要から東大阪市の発展を講演していただきました。



H30年の第10回では近畿一円に落語の出前高座をボランティアで行っておられる天神亭岩塩様に演目“子は鎗（かすがい）”で講話をしていただきました。



## ② ライブ

最初に生ライブを取り入れたのは平成23年第3回からでした。

その時は「好きやねん大阪」などのヒット曲の歌手平岡千佳さんが登場してライブショーが始まりました。「チャイカ」では歌手と一緒にあって皆で熱唱して、大いに盛り上がり、本当に楽しい時間を過ごしました。



平成24年第4回では、華やかなベリーダンスが披露され会場内を美しく優雅に舞う姿に参加者が魅了されました

平成25年第5回では、元タカラジェンヌ東千晃さんによる歌とトークショーで楽しい時間をすごしました。心にしみる歌に拍手が送られました。



平成26年第6回では、演歌歌手五月あやのさんによる歌とトークショー、持ち歌として東大阪の石切神社を題材とした楽曲「河内石切の町」等により皆さんと楽しい時間をすごしました。



平成27年第7回では、元タカラジェンヌ吉本 雅さんによる歌とトークショーと東大阪を中心に活動されています河内音頭&江州音頭同好会「壺の集い」を招いて初音家淳子さんの河内音頭、初音家音城さんの江州音頭により皆さん場内を踊って回り楽しい時間をすごしました。



平成28年第8回ではデザートローズのみなさんにベリーダンスをご披露いただき、最後には会場のみなさんも一緒に踊って場を盛り上げていただきました。



平成29年第9回では早波美加さんのライブ、特に壺の集いの皆様による踊りで盛り上げていただきました。



平成30年第10回ではOno Akiさんによる美声と迫力の音声で最後まで魅了していただきました。





### ③ 代表者挨拶

東大阪支部では平成26年の第6回から「支部総会・懇親会」に参加していただいた方々の代表としてご挨拶をいただいています。

ご参加していただいた会員を代表して、平成25年度「生活衛生事業功労者（水道関係功労者）厚生労働大臣表彰」受賞されました片山隆文様、いつもご支援・ご協力をいただいています岡本至弘様、職域を代表してワールド・メタル(株)の松尾英志様から、それぞれご発言をいただきました。

初めてご参加された9名の方もご紹介させていただきました



平成27年第7回では東大阪市在住の卒業生2,800名に案内したこともあり、おかげで支部総会に20名の方に初めてのご参加をいただきました。

壇上に上がっていただきご紹介させていただきました。

平成28年第8回では昭和31年に大阪工業大学を卒業された宮本悦郎先輩、初めて支部総会にご参加いただいた田島僚二様、福田和宏様からご挨拶をいただきました。



平成29年第9回では宝塚支部からご参加いただいた磯野幸夫支部長、初参加の佐藤伸孝様からご挨拶をいただきました。



平成30年度第10回では初参加の佐竹朗裕様、石井 茂様、鷺塚 毅様からご挨拶をいただきました。

#### ④ 賛助金のご協力

東大阪支部では毎年「支部総会・懇親会」の中で“学園創立記念事業”での募金活動を実施しています。

ご参加いただいた方々のご協力をいただき、現在東大阪支部からの振込額は累計310,975円となっています。

#### ⑤ 「校友会の歌」生伴奏で

東大阪支部では、「校友会の歌」を青年部の皆さんにお願いして合唱していますが、平成25年第5回からギターの生伴奏で演奏しています。



## 2) 支部事業

例年11月頃には東大阪支部独自の事業として、学校訪問、ラグビー応援、工場見学等を実施しています。

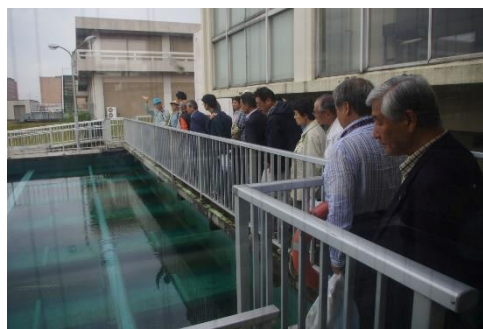
平成21年度取り組みました初めての支部事業は、大阪工業大学大宮キャンパスを訪ね、学園の創設史実などとモノラボの施設紹介をしていただきました。



平成22年はラグビーのメッカ『近鉄花園ラグビー場』に行き、関西大学ラグビーAリーグ摂南大学対同志社大学戦を観戦し、摂南大学ラグビーを応援。その後、東大阪土木部公園担当の方に、花園中央公園について案内していただきました。



平成23年は大阪広域水道企業団片山さんのご紹介により「平成23年来て見て体験 in 村野浄水場」のイベントに20名が参加しました。



平成24年は「学園巡り」に22名の校友と大阪工業大学大宮キャンパスと摂南大学枚方キャンパスを訪問見学しました。



平成25年は高校ラグビー大阪地区決勝戦に出場する常翔学園高校と常翔学園啓光高校の応援に、学園校友会東大阪支部会員32名で行きました。

後輩の活躍に「ラグビーの町東大阪市」の支部として今後とも応援していくことを確認しました。



平成26年は重要文化財の旧仙洞御料庄屋旧西尾住宅を見学してきました。  
その後アサヒビール発祥の地吹田工場へ  
ビール製造の映画を見た後、製造過程を見学。最後に出来立てエクストラコールドビールを試飲思わず「これはうまい」と言わせてもらいました。



平成27年は（株）河内ワインへ。  
専務にワイナリーを案内いただき、約1時間の見学の最後には地元産のぶどうを使用したワインの試飲をしました。



平成28年は坂本龍馬襲撃の舞台となった「寺田屋」へ  
その後『老舗有名酒造会社黄桜の工場兼観光施設。日本酒と地ビールの製造工程が同時に見学できる全国初施設。併設レストランや売店では自慢のお酒も楽しめます。』とのことで黄桜酒造伏水蔵に伺いました。



平成29年は“武田尾廃線敷ハイキング”として生瀬駅から武田尾駅間瀬の間、約4.7kmの廃線跡を武庫川沿いに、周辺の山々の紅葉を楽しみながらのハイキングとなりました。大変気持ちいい秋の一日を楽しく過ごしました。



平成30年は支部創立10周年を記念して“わがまち東大阪”を見学しようとなり、江戸時代に豪商鴻池家が開発した新田の管理・運営を行った「鴻池新田会所」、作家・司馬遼太郎氏の自宅と建築家・安藤忠雄氏の設計による「司馬遼太郎記念館」、作家・田辺聖子さんの母校である大阪樟蔭女子大学内にある「田辺聖子文学館」見学コースを企画したところ、ご家族でのご参加3組を含め計21名の方々のご参加をいただきました。



途中、当初の予定にはなかったお城（散髪屋さん）に立ち寄り最後はちゃんこ料理で親睦を図りました。



### 3) 「支部たより」の発刊

東大阪支部では年2回「支部たより」を発刊して、会員の皆様への通信機関誌として、ご案内をしています。

第1号(09.10.1号)は、「東大阪支部設立総会」の状況を掲載しました。

第2号(10.3.1号)は、支部事業の報告を掲載しました

以降、新年のあいさつ、「支部総会・懇親会」の様子、「全国支部交歓会」参加の様子、「支部事業」の様子その他、学園の創設等を掲載して、今回第20号の発刊となります。



### 4) 会員登録者数

東大阪市在住の常翔学園関連卒業生(常翔学園校友会、摂南大学校友会、広島国際大学校友会)が3,800名程おられます。

東大阪支部では、毎年年会費を振り込んでいただき、在住、在職の東大阪支部会員として登録をしています。

年 度	登録会員数	年 度	登録会員数
21年度	160名	26年度	166名
22年度	156名	27年度	193名
23年度	166名	28年度	157名
24年度	179名	29年度	133名
25年度	174名	30年度	133名

(※30年度は11月末現在)

登録会員の皆様には「支部たより、支部総会、支部事業」のご案内等させていただいています。

## 5) 役員

支部発足から現在に至る支部役員会長副会長の推移は次のとおりです。

	会長	副会長	副会長
平成21年度	河野 啓一 短大A・S44卒	笹谷 勇介 高校C・S57卒	林田 英徳 工大K・S40卒
平成22年度			
平成23年度			
平成24年度			
平成25年度			
平成26年度			
平成27年度			
平成28年度	林田 英徳 工大K・S40卒		池田 隆治 工大 M S60卒
平成29年度			
平成30年度			

支部役員会は概ね『クリエイション・コア東大阪  
(東大阪市役所西側)クリエイタープラザ南館3階』  
で3, 6, 9, 12月の年4回開催しています。  
支部役員で一緒に活動しませんか  
ご参加お待ちしております。



## 6) 常翔学園校友会東大阪支部会則

### 第1章 総 則

- 第1条 本会は、常翔学園校友会東大阪支部と称し、事務所は役員会において決定する。
- 第2条 本会は、会員相互の親睦を図り、母校並びに常翔学園校友会の発展に寄与することを目的とする。
- 第3条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。
1. 会員相互の緊密な連携と親睦を図る。
  2. 会誌・刊行物並びに会員名簿の作成。
  3. 研究会・講演会・見学会・同好会等の開催。
  4. その他、本会の目的達成のための必要な事項。

### 第2章 会 員

- 第4条 本会は、次の会員をもって組織する。
1. 会員
    - イ) 東大阪市に在住、または在職のもので、学校法人常翔学園が設置した各学校の卒業生およびこれらの母校に在籍したことがある者。
    - ロ) 会員が支部地域外に転居、または転職しても、申し出により役員会の承認を得

て会員とする。

2. 名誉会員 本会の発展に対し、特に功労ありと役員会で認めた者(法人を含む)

### 第3章 役員

第5条 本会に次の役員を置く。

支部長	1名	会計	2名
副支部長	若干名	事務局	若干名
事業部長	1名	監査	2名
		幹事	若干名

第6条 役員は会員の中から総会において選出する。

第7条 役員の任務は次の通りとする。

1. 支部長は支部を代表し、会務を統括する。  
(支部においては会長と称することができる)
2. 副支部長は支部長を補佐し、支部長に事故あるときはこれを代行する。
3. 事業部長は各種事業の企画・運営を掌る。
4. 会計は会計業務を行う。
5. 事務局は会務の連絡推進にあたる。
6. 監査は会計業務並びに運営上の監査を行う。
7. 幹事は会務の運営にあたる。

第8条 本会には相談役並びに顧問等を置くことができる。

1. 相談役並びに顧問等は会員の中から支部長が推薦し、総会の承認を得る。
2. 相談役は役員会に出席して意見を述べることができる。

第9条 役員の任期は2年とする。ただし、再選を妨げない。

補欠選任者の任期は残任期間とする。

第10条 役員は任期満了後といえども後任が決定するまで、その任にあたるものとする。

### 第4章 会議

第11条 会議は、総会および役員会とし、支部長がこれを召集する。

第12条 総会は毎年1回開催し、重要事項を報告する。

第13条 役員会は予算・決算を含む重要事項を審議する。

第14条 役員会は出席会員をもって成立し、可否同数のときは議長が決める。

### 第5章 会計

第15条 本会の経費は会員の会費・寄付金・学園校友会援助金・その他の収入をもってあてる。

第16条 本会の事業ならびに会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

### 第6章 補則

第17条 総会は学園校友会本部に事前報告をしなければならない。

第18条 本会の運営については細則でこれを定める。

第19条 本会則の制定および改廃は総会において承認を得なければならない。

第20条 施行日 平成21年6月27日

附則(平成29年6月24日 総会議案第6号)

本会則は、平成29年6月24日から施行する。